

-----  
当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

-----  
「中東・イスラームの歴史と歴史空間の可視化分析—デジタル化時代の学知の共有をめざして」  
(2020 年度第 1 回研究会)

2020 年 5 月 30 日(土曜日)午後 13 時より午後 17 時、オンライン開催

報告：中村覚 (AA 研共同研究員・東京大学)「TEI 入門」

本共同研究課題の第 1 回目となる研究会では、AA 研共同研究員である中村覚氏 (東京大学) にテキスト分析の際のタグづけ指針として現在普及している Text Encoding Initiative (TEI) に関する概説をお願いした。報告は、参加者のほとんどがテキスト分析については初学者であることを考慮し、TEI とは何かという基本的な情報から始まり、機能についての解説の後、いくつかの実例が紹介された。

この後、ディスカッションの時間を 2 時間ほどとり、参加者各人の研究の紹介を行い、問題関心の所在や扱う史料の特徴などが紹介され、それらに対してテキストエンコーディングの手法をいかに応用できるかが議論された。特に、議論の焦点となったのは、右から左へ記述するアラビア文字を対象にする場合のテキストエンコーディングの手法についてである。これについては、次回の研究会の課題とすることとし、当該手法について知悉している共同研究員のマキシム・ロマノフ氏に報告をお願いすることにした。

本共同研究課題における初めての研究会がオンライン開催ということで不安な点もあったが、トラブルなく終えることができた。また、質疑やディスカッションも活発に行われ、ヴァーチャルながらも活気ある研究会となった。